

- 1 カテーテル一体型・ストッパー装着済容器により、投与時の利便性が向上
- 2 アコーディオン方式の容器で、握りやすさと注入のしやすさを追求
- 3 スライド式ストッパーにより、カテーテルの過挿入を防止
- 4 逆流防止弁で、注入後の薬液の逆流を防止



潰瘍性大腸炎治療剤
処方箋医薬品

メサラジン注腸 1g「ケンエー」

メサラジン注腸 1% 製剤

MESALAZINE ENEMA 1g「KENEI」

注意－医師等の処方箋により使用すること

【禁忌（次の患者には投与しないこと）】

- (1) 重篤な腎障害のある患者〔腎障害がさらに悪化するおそれがある。〕
- (2) 重篤な肝障害のある患者〔肝障害がさらに悪化するおそれがある。〕
- (3) 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者（「2.重要な基本的注意」の項参照）
- (4) サリチル酸エステル類又はサリチル酸塩類に対する過敏症の既往歴のある患者〔交叉アレルギーを発現するおそれがある。〕

潰瘍性大腸炎治療剤

メサラジン注腸 1g「ケンエー」

MESALAZINE ENEMA 1g「KENEI」

メサラジンは、錠剤が一般的ですが、注腸剤は潰瘍性大腸炎における脾彎曲部から肛門部までの病変部に対応する製剤として、錠剤と併用または単独で処方されています。

メサラジン注腸 1g「ケンエー」は、有効成分として日局メサラジンを1g含有した注腸剤です。カテーテル一体型の容器及びスライド式ストッパー装着済みカテーテルによる利便性の向上や、カテーテル先端の逆流防止弁による薬液注入後の薬液の逆流防止など、患者様のアドヒアランスの向上に配慮した製剤です。

1 カテーテル一体型かつ スライド式ストッパー装着済みの容器



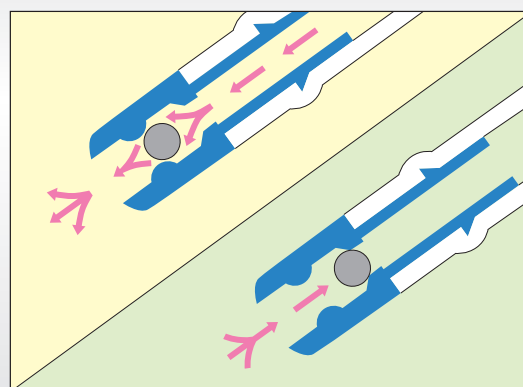
カテーテル及びストッパーがあらかじめ装着されているため、薬液注入時の利便性が向上しました。
カテーテル一体型容器のため、接続部からの薬液漏れを防止します。
また、スライド式ストッパーにより、カテーテルの過挿入も防止できます。

2 アコーディオン方式で ワンプッシュ



アコーディオン方式なので、握り易く、全量をワンプッシュで注入できます。注腸時の逆流防止に対応できるように、容器が容易に折り込めるよう工夫された独特の方式になっています。

3 カテーテル先端の 逆流防止弁



カテーテル先端のノズル部分に、逆流防止弁がついているので、注腸時の不快な薬液の逆流を防ぎます。

重大な副作用（頻度不明）として以下の症状が現れることがあります。

間質性肺疾患、心筋炎、心膜炎、胸膜炎、間質性腎炎、ネフローゼ症候群、腎機能低下、急性腎障害、再生不良性貧血、汎血球減少、無顆粒球症、血小板減少症、肝炎、肝機能障害、黄疸、脾炎

取扱い上の注意：アルミ袋開封後は速やかに使用して下さい。

組成・性状

組成	(1個 100 mL中) 日局メサラジン 1 g含有。 添加物として酢酸ナトリウム水和物、エデト酸ナトリウム水和物、ピロ亜硫酸ナトリウム、pH 調節剤を含有する。	性状	白色～微黄色の懸濁液で、放置するとき、白色の沈殿物と無色～微黄色の上澄液に分離し、この沈殿物は穏やかに振り混ぜるとき、再び容易に懸濁状となる。
----	--	----	---

効能・効果、用法・用量

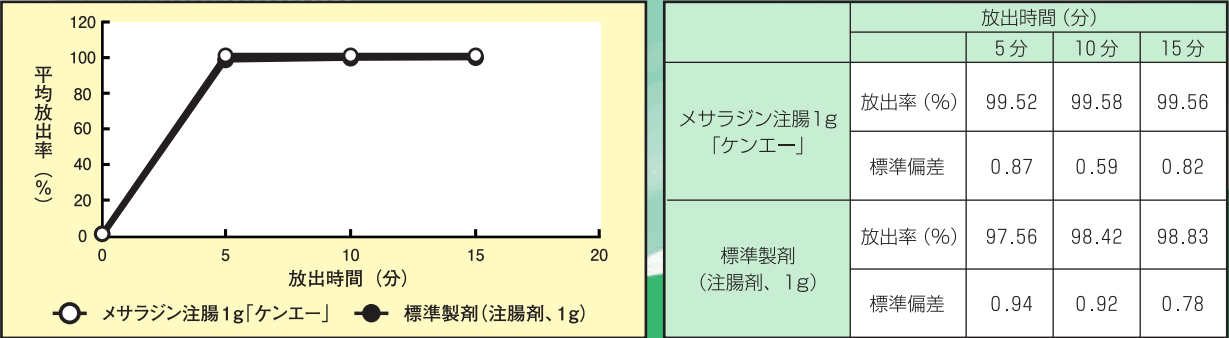
効能・効果	潰瘍性大腸炎（重症を除く） <効能・効果に関連する注意> 脾彎曲部より口側の炎症には効果が期待できない。	用法・用量	通常、成人には1日1個（メサラジンとして1 g）を、直腸内注入する。 なお、年齢、症状により適宜減量する。
-------	--	-------	--

薬効を裏付ける試験成績

(1)放出試験

メサラジン注腸 1 g「ケンエー」の放出挙動について、標準製剤と放出性を比較した結果、メサラジン注腸 1 g「ケンエー」と標準製剤のいずれも 15 分以内に平均 85 %以上放出し、試験製剤の放出挙動は標準製剤と類似していることが確認されました。なお、試験液は水 900 mL、試験条件はパドル法により毎分 50 回転としています。

放出試験結果



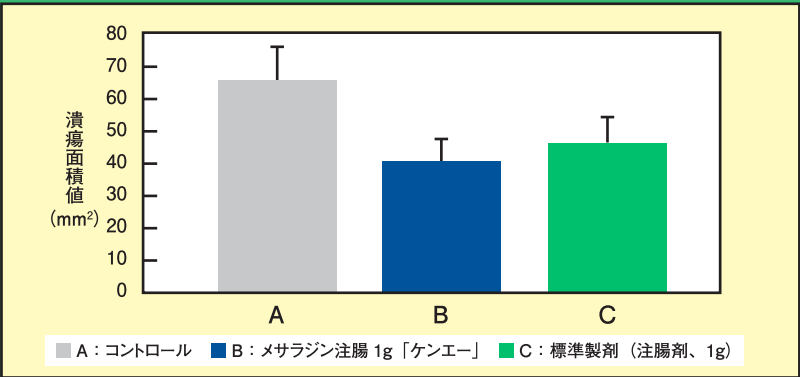
mean (n=12)

●社内資料：メサラジン注腸 1 g「ケンエー」の生物学的同等性について一放出試験一

(2)酢酸誘発潰瘍性大腸炎モデルに対する傷害の抑制効果（in vivo 試験）

メサラジン注腸 1 g「ケンエー」の *in vivo* における潰瘍性大腸炎に対する効果について、ラットの酢酸誘発潰瘍性大腸炎モデルに対する傷害の抑制効果を確認しました。その結果、メサラジン注腸 1 g「ケンエー」及び標準製剤はメサラジンを投与しないコントロール群と比較して、潰瘍面積が小さいことが確認されました。なお、メサラジン注腸 1 g「ケンエー」及び標準製剤を投与した群の潰瘍面積値について、Studentの t 検定を実施した結果、有意差が認められませんでした（95%CI：-14.72～26.49mm²）。

各群における投与終了時の潰瘍面積値



mean±S.E. (n=12)

試験方法

潰瘍作成方法

ラットの大腸に 20vol%酢酸を用いて潰瘍を作成した。

投与方法

調製した被験物質を肛門から直腸投与した。
潰瘍作成の当日を含めて 5 日間（1 日 2 回、投与間隔は 4 時間）とした。なお、コントロール群については、投与期間中は 1.2 w/v%CMC 溶液のみを投与した。
投与量は 1 回あたり 3 mL/kg とし、投与日当日の体重を基準に毎回算出した。

評価方法

摘出した潰瘍の長径 (mm) 及び短径 (mm) を測定し、その積を潰瘍面積 (mm²) とした。

●社内資料：メサラジン注腸 1 g「ケンエー」の薬効薬理試験ーラットの酢酸誘発潰瘍性大腸炎モデルに対する傷害の抑制効果ー

使用方法

本品はアコーディオン
薬液注入時の操作

1

挿入深度の調整

カテーテルに装着された
ストッパーをスライドさせ、
挿入深度を調整します。

ストッパーの位置はカテーテル
の目盛の4から6が目安です。



2

薬液の懸濁

キャップを取りはずす前に
容器をよく振り、薬液を懸
濁します。

上澄み液だけが先に出てしま
うと、有効成分が詰まったり容
器に残ったりすることがあり
ます。



5 挿入時の体位

左腰を下にして横になり、カテー
テルをストッパーの位置まで肛門
からゆっくりと挿入します。

直腸粘膜を傷つけるおそれがあるので、
慎重に挿入します。



6 注入時の容器の持ち方

カテーテルを挿入後、薬液ボトルを持ちます。

アコーディオン



患者が注入する場合

人差し指と中指を
アルミシール側の
ボトル面に、親指
と小指をカテー
テル側のボトル面
に添えます。



メサラジン注腸 1g「ケンエー」
使い方の動画はこちら

※視聴により発生する通信料は
視聴者のご負担となります。

患者用使用説明書 / A4サイズ
(製品に同梱されています)

患者用指導箋 / A5サイズ
(製品に同梱されておりません)

メサラジン注腸 1g「ケンエー」使用説明書 ご使用の前に必ずお読みください

この薬は、腸の炎症を抑える働きがあります。腸の炎症を抑えることで、腹痛や下痢、血便などの症状が軽減されます。また、腸の粘膜を保護する働きもあります。

他のメサラジン注腸とは異なる形状や挿入までの手順が一覧表の中でご確認ください。

メサラジン注腸 1g「ケンエー」製品内容

●薬の組み立てが不要
●挿入時の痛みを軽減する働きがあります。
●挿入時の痛みを軽減する働きがあります。

●使用にあたって
●使用前に必ずお読みください。ご使用の際は、必ずお読みください。

●使用法
●1. 使用法
●2. 挿入時の体位
●3. 薬液の懸濁
●4. 容器の持ち方

●5. 挿入時の体位
●6. 挿入時の体位
●7. 挿入時の体位
●8. 挿入時の体位

●9. 挿入時の体位
●10. 挿入時の体位
●11. 挿入時の体位
●12. 挿入時の体位

●13. 挿入時の体位
●14. 挿入時の体位
●15. 挿入時の体位
●16. 挿入時の体位

●17. 挿入時の体位
●18. 挿入時の体位
●19. 挿入時の体位
●20. 挿入時の体位

メサラジン注腸 1g「ケンエー」使用説明書 ご使用の前に必ずお読みください

この薬は、腸の炎症を抑える働きがあります。腸の炎症を抑えることで、腹痛や下痢、血便などの症状が軽減されます。また、腸の粘膜を保護する働きもあります。

他のメサラジン注腸とは異なる形状や挿入までの手順が一覧表の中でご確認ください。

メサラジン注腸 1g「ケンエー」製品内容

●薬の組み立てが不要
●挿入時の痛みを軽減する働きがあります。
●挿入時の痛みを軽減する働きがあります。

●使用にあたって
●使用前に必ずお読みください。ご使用の際は、必ずお読みください。

●使用法
●1. 使用法
●2. 挿入時の体位
●3. 薬液の懸濁
●4. 容器の持ち方

●5. 挿入時の体位
●6. 挿入時の体位
●7. 挿入時の体位
●8. 挿入時の体位

●9. 挿入時の体位
●10. 挿入時の体位
●11. 挿入時の体位
●12. 挿入時の体位

●13. 挿入時の体位
●14. 挿入時の体位
●15. 挿入時の体位
●16. 挿入時の体位

●17. 挿入時の体位
●18. 挿入時の体位
●19. 挿入時の体位
●20. 挿入時の体位

メサラジン注腸 1g「ケンエー」使用説明書 ご使用の前に必ずお読みください

この薬は、腸の炎症を抑える働きがあります。腸の炎症を抑えることで、腹痛や下痢、血便などの症状が軽減されます。また、腸の粘膜を保護する働きもあります。

他のメサラジン注腸とは異なる形状や挿入までの手順が一覧表の中でご確認ください。

メサラジン注腸 1g「ケンエー」製品内容

●薬の組み立てが不要
●挿入時の痛みを軽減する働きがあります。
●挿入時の痛みを軽減する働きがあります。

●使用にあたって
●使用前に必ずお読みください。ご使用の際は、必ずお読みください。

●使用法
●1. 使用法
●2. 挿入時の体位
●3. 薬液の懸濁
●4. 容器の持ち方

●5. 挿入時の体位
●6. 挿入時の体位
●7. 挿入時の体位
●8. 挿入時の体位

●9. 挿入時の体位
●10. 挿入時の体位
●11. 挿入時の体位
●12. 挿入時の体位

●13. 挿入時の体位
●14. 挿入時の体位
●15. 挿入時の体位
●16. 挿入時の体位

●17. 挿入時の体位
●18. 挿入時の体位
●19. 挿入時の体位
●20. 挿入時の体位

メサラジン注腸 1g「ケンエー」使用説明書 ご使用の前に必ずお読みください

この薬は、腸の炎症を抑える働きがあります。腸の炎症を抑えることで、腹痛や下痢、血便などの症状が軽減されます。また、腸の粘膜を保護する働きもあります。

他のメサラジン注腸とは異なる形状や挿入までの手順が一覧表の中でご確認ください。

メサラジン注腸 1g「ケンエー」製品内容

●薬の組み立てが不要
●挿入時の痛みを軽減する働きがあります。
●挿入時の痛みを軽減する働きがあります。

●使用にあたって
●使用前に必ずお読みください。ご使用の際は、必ずお読みください。

●使用法
●1. 使用法
●2. 挿入時の体位
●3. 薬液の懸濁
●4. 容器の持ち方

●5. 挿入時の体位
●6. 挿入時の体位
●7. 挿入時の体位
●8. 挿入時の体位

●9. 挿入時の体位
●10. 挿入時の体位
●11. 挿入時の体位
●12. 挿入時の体位

●13. 挿入時の体位
●14. 挿入時の体位
●15. 挿入時の体位
●16. 挿入時の体位

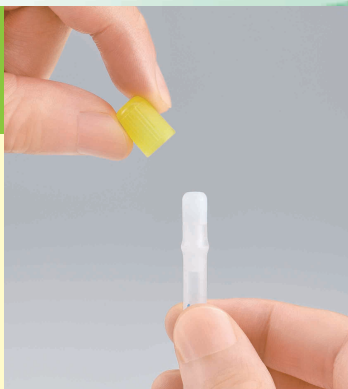
●17. 挿入時の体位
●18. 挿入時の体位
●19. 挿入時の体位
●20. 挿入時の体位

イオン方式の薬液ボトルにカテーテルが一体になった製剤です。
作が特徴的で、アコーディオン方式の薬液ボトルを折り込みながら薬液を注入します。

3

容器の開栓

カテーテル先端にある黄色のキャップを回すように取りはずします。



4

挿入時の容器の持ち方

ストッパーの下部に指を合わせて容器を持ちます。



7 薬液の注入

イオン方式の薬液ボトルを折り込みながら、薬液をゆっくりと注入します。 薬液を注入後、ゆっくりとカテーテルを抜き取ります。



注入後

カテーテル側のボトル面に添えた指を支点に、人差し指と中指を使って薬液ボトルを折り込むようにします。



注入後

カテーテル側のボトル面に添えた指を支点に、親指を使って薬液ボトルを折り込むようにします。

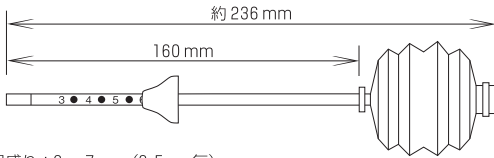
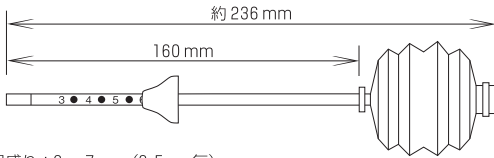
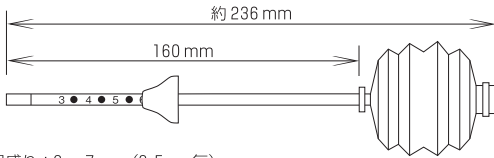
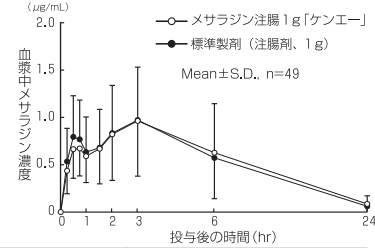
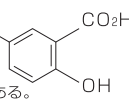
サイズ

個装箱



容器(本体)



商品名		メサラジン注腸 1g「ケンエー」																					
和名		MESALAZINE ENEMA 1g「KENEI」																					
洋名																							
製造販売元		健栄製薬株式会社	承認番号 23000AMX00180																				
日本標準商品分類番号		872399	承認年月 2018年1月																				
規制区分		処方箋医薬品	薬価基準収載年月 2020年6月																				
薬効分類		その他の消化器官用薬	販売開始年月 2020年8月																				
禁忌																							
禁忌（次の患者には投与しないこと） (1) 重篤な腎障害のある患者〔腎障害がさらに悪化するおそれがある。〕 (2) 重篤な肝障害のある患者〔肝障害がさらに悪化するおそれがある。〕 (3) 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者（「2.重要な基本的注意」の項参照） (4) サリチル酸エステル類又はサリチル酸塩類に対する過敏症の既往歴のある患者〔交叉アレルギーを発現するおそれがある。〕																							
組成・性状																							
<table><tr><td>販売名</td><td>メサラジン注腸 1g「ケンエー」</td></tr><tr><td>成分・含量</td><td>(1 個 100 mL 中) 日局 メサラジン 1g</td></tr><tr><td>添加物</td><td>酢酸ナトリウム水和物、エデト酸ナトリウム水和物、ピロ亜硫酸ナトリウム、pH調節剤</td></tr><tr><td>性状</td><td>白色～微黄色の懸濁液で、放置するとき、白色の沈殿物と無色～微黄色の上澄液に分離し、この沈殿物は穏やかに振り混ぜるとき、再び容易に懸濁状となる。</td></tr><tr><td>外形（容器）</td><td> 約 236 mm 160 mm 3 4 5  目盛り：3～7 cm (0.5 cm 毎) </td></tr><tr><td>備考</td><td>● アコーディオン方式 ● カテーテル（目盛入り）付 ● 逆流防止弁付 ● スライド式ストッパー付</td></tr></table>				販売名	メサラジン注腸 1g「ケンエー」	成分・含量	(1 個 100 mL 中) 日局 メサラジン 1g	添加物	酢酸ナトリウム水和物、エデト酸ナトリウム水和物、ピロ亜硫酸ナトリウム、pH調節剤	性状	白色～微黄色の懸濁液で、放置するとき、白色の沈殿物と無色～微黄色の上澄液に分離し、この沈殿物は穏やかに振り混ぜるとき、再び容易に懸濁状となる。	外形（容器）	約 236 mm 160 mm 3 4 5  目盛り：3～7 cm (0.5 cm 毎)	備考	● アコーディオン方式 ● カテーテル（目盛入り）付 ● 逆流防止弁付 ● スライド式ストッパー付								
販売名	メサラジン注腸 1g「ケンエー」																						
成分・含量	(1 個 100 mL 中) 日局 メサラジン 1g																						
添加物	酢酸ナトリウム水和物、エデト酸ナトリウム水和物、ピロ亜硫酸ナトリウム、pH調節剤																						
性状	白色～微黄色の懸濁液で、放置するとき、白色の沈殿物と無色～微黄色の上澄液に分離し、この沈殿物は穏やかに振り混ぜるとき、再び容易に懸濁状となる。																						
外形（容器）	約 236 mm 160 mm 3 4 5  目盛り：3～7 cm (0.5 cm 毎)																						
備考	● アコーディオン方式 ● カテーテル（目盛入り）付 ● 逆流防止弁付 ● スライド式ストッパー付																						
効能・効果																							
潰瘍性大腸炎（重症を除く） ＜効能・効果に関連する使用上の注意＞ 脾胃曲部より口側の炎症には効果が期待できない。																							
用法・用量																							
通常、成人には1日1個（メサラジンとして1g）を、直腸内注入する。なお、年齢、症状により適宜減量する。																							
使用上の注意																							
1. 慎重投与（次の患者には慎重に投与すること） (1) 腎機能の低下している患者〔排泄が遅延し副作用があらわれるおそれがある。〕 (2) 肝機能の低下している患者〔代謝が遅延し副作用があらわれるおそれがある。〕 (3) サラソスルファピリジンに対する過敏症のある患者（「2.重要な基本的注意（2）」の項参照） 2. 重要な基本的注意 (1) メサラジンにより過敏症状（発熱、腹痛、下痢、好酸球増多等）が発現することがあり、また、潰瘍性大腸炎が悪化することがあるため、異常が認められた場合には、投与を中止するなど適切な処置を行うこと。 (2) メサラジン錠をサラソスルファピリジンでアレルギー症状がみられた患者に投与したところ、同様のアレルギー症状が認められた。そのため、サラソスルファピリジンでアレルギー症状がみられた患者に本剤を投与する場合は注意すること。 (3) メサラジン錠において、間質性腎炎が報告されているため、投与中はクレアチニン等の腎機能をモニターする等、患者の状態を十分に観察すること。異常が認められた場合には減量又は投与を中止する等の適切な処置を行うこと。 (4) 肝炎、肝機能障害、黄疸が報告されているため、投与中はAST（GOT）、ALT（GPT）等の肝機能をモニターする等、患者の状態を十分に観察すること。異常が認められた場合には減量又は投与を中止する等の適切な処置を行うこと。 (5) 本剤をメサラジン錠を含む 5-アミノサリチル酸経口剤と併用する場合には、メサラジンとしての総投与量が増加することを考慮し、特に肝又は腎機能の低下している患者並びに高齢者等への投与に際しては適宜減量するなど、十分に注意すること。併用時に異常が認められた場合には、減量又は中止する等の適切な処置を行うこと。 3. 相互作用 併用注意（併用に注意すること） 文献による報告があるため、併用に注意すること。																							
<table><tr><th>薬剤名等</th><th>臨床症状・措置方法</th><th>機序・危険因子</th></tr><tr><td>利尿剤 ステロイド剤</td><td>臨床検査値（尿量、尿中ナトリウム、カリウム及び塩素イオン）の変動に注意する。</td><td>動物実験（ラット）で、メサラジンの大量投与（300 mg/kg）により、尿量及びこれらイオンの排泄増加がみられる。</td></tr><tr><td>アザチオプリン メルカプトプリン水和物</td><td>骨髄抑制があらわれるおそれがある。</td><td>本剤は、チオプリンメチルトランスフェラーゼ活性を抑制するなど、これらの薬剤の代謝を阻害するとの報告がある。</td></tr></table>				薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	利尿剤 ステロイド剤	臨床検査値（尿量、尿中ナトリウム、カリウム及び塩素イオン）の変動に注意する。	動物実験（ラット）で、メサラジンの大量投与（300 mg/kg）により、尿量及びこれらイオンの排泄増加がみられる。	アザチオプリン メルカプトプリン水和物	骨髄抑制があらわれるおそれがある。	本剤は、チオプリンメチルトランスフェラーゼ活性を抑制するなど、これらの薬剤の代謝を阻害するとの報告がある。											
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子																					
利尿剤 ステロイド剤	臨床検査値（尿量、尿中ナトリウム、カリウム及び塩素イオン）の変動に注意する。	動物実験（ラット）で、メサラジンの大量投与（300 mg/kg）により、尿量及びこれらイオンの排泄増加がみられる。																					
アザチオプリン メルカプトプリン水和物	骨髄抑制があらわれるおそれがある。	本剤は、チオプリンメチルトランスフェラーゼ活性を抑制するなど、これらの薬剤の代謝を阻害するとの報告がある。																					
4. 副作用 本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。 (1) 重大な副作用（頻度不明） 1) 間質性肺炎症：間質性肺炎患（好酸球性肺炎、肺炎、肺臓炎、間質性肺炎等）が報告されているので、発熱、咳、呼吸困難、胸部 X 線異常等があらわれた場合には、投与を中止し適切な処置を行うこと。 2) 心筋炎、心膜炎、胸膜炎：心筋炎、心膜炎、胸膜炎があらわれることがあるので、胸痛、胸部心電図異常等があらわれた場合には、投与を中止するなど適切な処置を行うこと。 3) 間質性腎炎、ネフローゼ症候群、腎機能低下、急性腎障害：間質性腎炎、ネフローゼ症候群、腎機能低下、急性腎障害があらわれることがあるので、投与期間中は腎機能検査値に注意するなど、患者の状態を十分に観察し、異常が認められた場合には、投与を中止するなど適切な処置を行うこと。 4) 再生不良性貧血、汎血球減少、無顆粒球症、血小板減少症：再生不良性貧血、汎血球減少、無顆粒球症、血小板減少症があらわれることがあるので、投与期間中は血液検査を行うなど患者の状態を十分に観察し、異常が認められた場合には、投与を中止するなど適切な処置を行うこと。																							
薬物動態																							
〈生物学的同等性試験〉¹⁾ メサラジン注腸 1g「ケンエー」と標準製剤を、クロスオーバー法によりそれぞれ 1 個（メサラジンとして 1g）健康成人男子に絶食単回直腸投与して血漿中未変化体濃度を測定し、得られた薬物動態パラメータ（AUC、Cmax）について 90%信頼区間法にて統計解析を行った結果、log(0.80)～log(1.25) の範囲内であり、両剤の生物学的同等性が確認された。  <table><tr><th colspan="2">判定パラメータ</th><th colspan="3">参考パラメータ</th></tr><tr><th>AUC₀₋₂₄ (μg・hr/mL)</th><th>Cmax (μg/mL)</th><th>Tmax (hr)</th><th colspan="2">T_{1/2} (hr)</th></tr><tr><td>メサラジン注腸 1g「ケンエー」</td><td>10.81 ± 6.91</td><td>1.12 ± 0.54</td><td>2.5 ± 1.8</td><td>6.3 ± 3.6*¹</td></tr><tr><td>標準製剤 (注腸剤、1g)</td><td>10.21 ± 5.82</td><td>1.14 ± 0.51</td><td>2.5 ± 1.8</td><td>6.1 ± 3.8*²</td></tr></table> (Mean ± S.D., n = 49, T_{1/2} : * 1 : n = 47, * 2 : n = 46) 血漿中濃度並びに AUC、Cmax 等のパラメータは、被験者の選択、体液の採取回数・時間等の試験条件によって異なる可能性がある。				判定パラメータ		参考パラメータ			AUC ₀₋₂₄ (μg・hr/mL)	Cmax (μg/mL)	Tmax (hr)	T _{1/2} (hr)		メサラジン注腸 1g「ケンエー」	10.81 ± 6.91	1.12 ± 0.54	2.5 ± 1.8	6.3 ± 3.6* ¹	標準製剤 (注腸剤、1g)	10.21 ± 5.82	1.14 ± 0.51	2.5 ± 1.8	6.1 ± 3.8* ²
判定パラメータ		参考パラメータ																					
AUC ₀₋₂₄ (μg・hr/mL)	Cmax (μg/mL)	Tmax (hr)	T _{1/2} (hr)																				
メサラジン注腸 1g「ケンエー」	10.81 ± 6.91	1.12 ± 0.54	2.5 ± 1.8	6.3 ± 3.6* ¹																			
標準製剤 (注腸剤、1g)	10.21 ± 5.82	1.14 ± 0.51	2.5 ± 1.8	6.1 ± 3.8* ²																			
有効成分に関する理化学的知見																							
一般名：メサラジン（Mesalazine）[JAN] 化学名：5-Amino-2-hydroxybenzoic acid 分子式：C₇H₇NO₃ 分子量：153.14 性状：本品は白色、淡灰色又は帯赤白色の結晶又は結晶性の粉末である。本品は水に極めて溶けにくく、エタノール（99.5）にほとんど溶けない。本品は希塩酸に溶ける。 融点：270～275℃（分解） 構造式：																							
取扱い上の注意																							
〈貯法〉遮光して室温保存 〈使用期限〉外装（外箱）等に表示 〈注意〉アルミ袋開封後は速やかに使用すること。（「8.適用上の注意」の項参照） 〈安定性試験〉²⁾ 最終包装製品を用いた加速試験（40℃、75%RH、6 ヶ月）の結果、通常の市場流通下において 3 年間安定であることが推測された。																							
包装																							
100 mL × 7																							

[詳細は添付文書等をご参照ください。]

主要文献

- 1) 社内資料：メサラジン注腸 1g「ケンエー」の生物学的同等性について
- 2) 社内資料：メサラジン注腸 1g「ケンエー」の経時安定性について

文献請求先及び問い合わせ先

主要文献に記載の社内資料につきましても下記にご請求下さい。

健栄製薬株式会社 学術情報部

〒541-0044 大阪市中央区伏見町 2 丁目 5 番 8 号

電話番号 06 (6231) 5822 FAX 番号 06 (6204) 0750